

さつまいもへの支出

- 家計調査（二人以上の世帯・単身世帯）結果より -

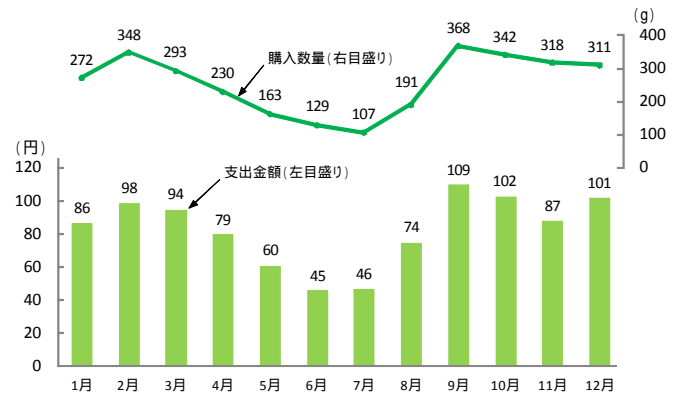
秋といえば、実りの季節。食欲の秋という言葉もあるように、美味しい旬の食材が豊富な季節です。そこで今回は、10月13日の「サツマイモの日」にちなみ、さつまいもへの支出について、家計調査の結果からみてみましょう。

* さつまいもには「栗（九里）より（四里）うまい十三里」といって「十三里」という別名があります。また、10月はさつまいもの旬の季節であることから、埼玉県川越市の市民グループ「川越いも友の会」が10月13日をサツマイモの日に制定しました。

さつまいもは秋から冬にかけての購入が多い

さつまいもの1世帯当たり1か月間の支出金額と購入数量を月別にみると、平成21～23年平均では、夏は少なく、秋から冬にかけての寒い季節の購入が多くなっています（図1）。

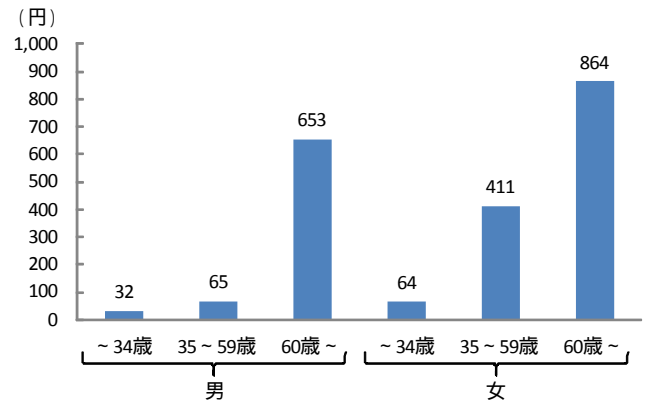
図1 さつまいもの月別支出金額及び購入数量（平成21～23年平均 二人以上の世帯）



60歳以上の女性世帯が最も支出金額が多い

次に、単身世帯の男女・年齢階級別の年間支出金額をみると、平成23年は全ての年齢階級で女性が男性を上回っています。また、男女共に年齢が上がるほど支出金額が多くなっており、最も支出金額の多い60歳以上の女性は、最も支出金額の少ない34歳未満の男性の27倍支出しています（図2）。

図2 さつまいもの男女年齢階級別支出金額（平成23年 単身世帯）



さつまいもの購入数量は徳島市が1位

最後に、さつまいもの1世帯当たりの年間購入数量を都道府県庁所在市及び政令指定都市別にみると、平成21～23年平均では、徳島市が5,733gと最も多く、全国平均（3,074g）の約1.9倍になっています。次いで、浜松市（4,677g）、新潟市（4,430g）、熊本市（4,302g）となっています（図3）。

図3 さつまいもの都道府県庁所在市及び政令指定都市別年間購入数量（平成21～23年平均 二人以上の世帯）

